



# 花の入笠山ウォーク

2015.07.26 普通14km ゆったり10km

## 緊急時連絡

里見祥一 090-6767-2474

三井公博 090-8867-7412

### コースの概要

中央道、諏訪南ICを経由し、富士見パノラマリゾート山麓駅に着きます。それまでに必ず、普通コースかゆったりコースの選択をしてください。普通コースは、さらに沢入登山口までバス移動し、ウォークをスタート、ゆったりコースは、ゴンドラ山麓駅からゴンドラリフトを利用して山頂駅まで行き、ウォークスタートになります。

### 普通コース

沢入登山口から入笠湿原山彦荘経由、登山口まで登ります。ゆったりと合流して、必ずトイレを済ませ(この後、ここに戻ってくるまでトイレはありません)、お花畑の中の高山植物を楽しみながら山頂まで足元に注意しながら岩場迂回コースをゆっくり進みます。山頂で昼食です。南アルプス・ハケ岳・中央アルプス・諏訪湖など360度の眺望を満喫してください。昼食後は裏登山道を下り、首切り清水、大阿原湿原に進み、ゆったりと別れてテイ沢に向かいます。テイ沢は、水場・倒木・丸木橋等がある溪流沿いを歩きますので足元には十分注意してください。小黒川林道・入笠牧場を経て入笠山登山口まで戻ってきます。ここでゆったりと合流してゴンドラリフトを利用して山麓駅まで戻ります。

### ゆったりコース

山麓駅から山頂駅まで、一気にゴンドラリフトで登ります。降りたら、案内板に従って、入笠湿原経由山彦荘まで湿原の植物を楽しみながら木道を進んでください。ここで普通コースと合流します。トイレを済ませて(この後、ここに戻ってくるまでトイレはありません)登山口から山頂まで、登りに苦労しながら眺望とランチを楽しんでください。山頂からの下り坂では足元に注意しながら、大阿原湿原へ向かいます。湿原分岐で普通コースと別れ、ハケ岳ビューポイントを経由して、お花畑・登山口まで進みます。ここで普通コースと合流してゴンドラリフトを利用して山麓駅まで戻ります。

### コース

**往路(バス)** 富士宮駅南口 == 甲府南IC == 双葉SA(WC) == 諏訪南IC == ゴンドラ山麓駅(WC)  
6:30 7:50~8:10 8:45~9:05  
== 沢入駐車場(体操)  
9:20~9:30

### ウォーク

#### 普通コース

沢入駐車場(スタート)・・・入笠登山口(WC)・・・入笠山山頂(昼食)・・・大阿原湿原分岐  
9:30 10:30~10:45 11:35~12:15 13:00  
・・・テイ沢・・・小黒川林道・・・入笠登山口(WC)・・・山頂駅=ゴンドラ=山麓駅(WC)  
14:30~45 15:15 ~15:40

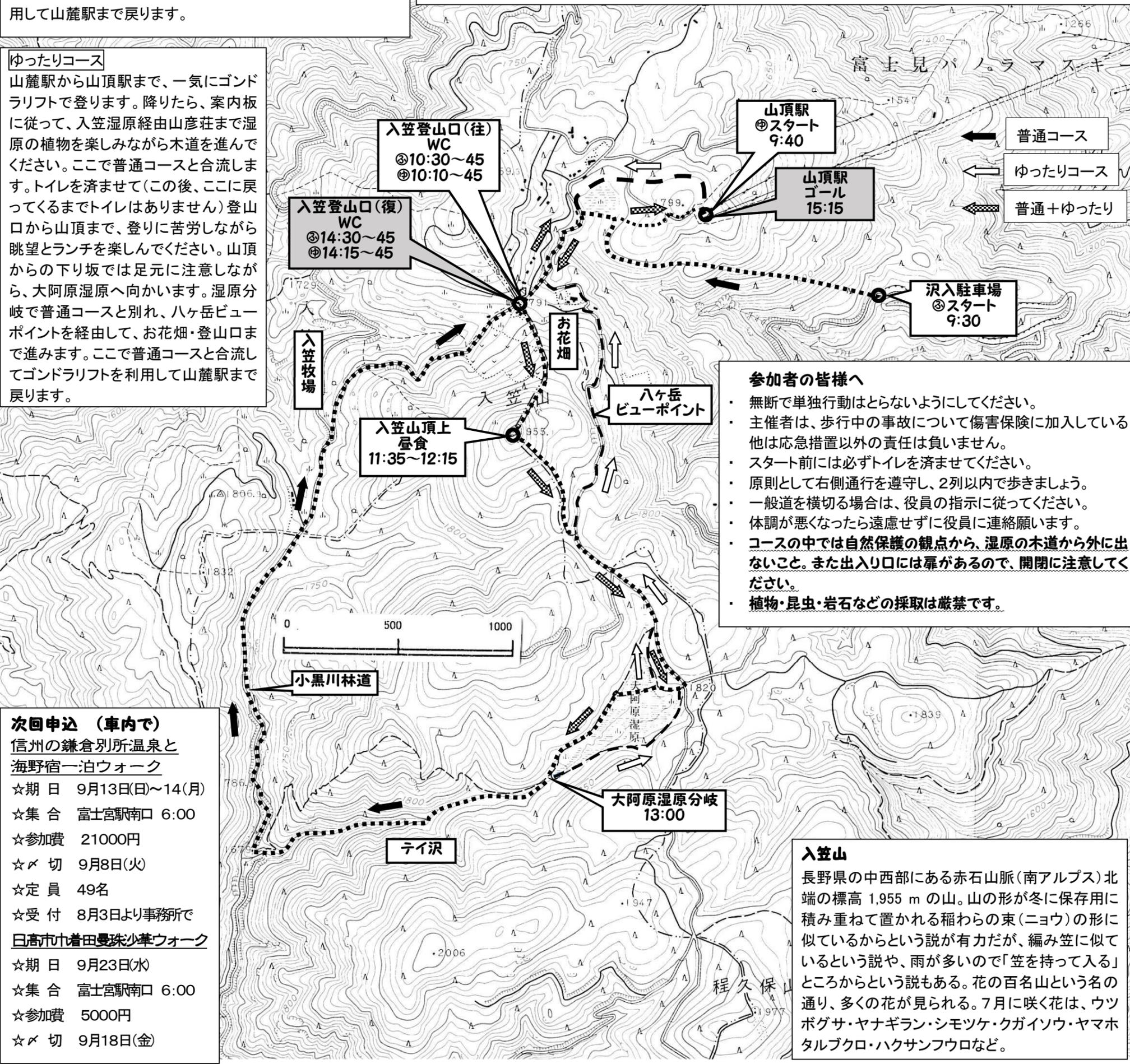
#### ゆったりコース

ゴンドラ山麓駅=ゴンドラ=山頂駅(スタート)・・・入笠登山口(WC)  
9:10 9:30~40 10:10~45  
\* 登山口で普通コースメンバーの到着を待ち、お花畑へ入笠山山頂へ大阿原湿原分岐まで一緒に歩く。大阿原湿原分岐からは以下のルート。

大阿原湿原分岐・・・林道・・・入笠登山口(WC) \*ここからは普通コースメンバーに合流  
13:00 14:15~45

### 復路(バス)

ゴンドラ山麓駅 == 道の駅信州 蔦木宿(WC) == 小淵沢IC == 甲府南IC == 富士宮駅南口  
15:40 16:00~20 18:00



### 参加者の皆様へ

- 無断で単独行動はとらないようにしてください。
- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。
- コースの中では自然保護の観点から、湿原の木道から外に出ないこと。また出入り口には扉があるので、開閉に注意してください。
- 植物・昆虫・岩石などの採取は厳禁です。

### 次回申込 (車内で)

#### 信州の鎌倉別所温泉と海野宿一泊ウォーク

☆期日 9月13日(日)~14(月)  
☆集合 富士宮駅南口 6:00  
☆参加費 21000円  
☆切 9月8日(火)  
☆定員 49名  
☆受付 8月3日より事務所で

#### 日高市川着田豊珠少華ウォーク

☆期日 9月23日(水)  
☆集合 富士宮駅南口 6:00  
☆参加費 5000円  
☆切 9月18日(金)

### 入笠山

長野県の中西部にある赤石山脈(南アルプス)北端の標高1,955mの山。山の形が冬に保存用に積み重ねて置かれる稲わらの束(ニョウ)の形に似ているからという説が有力だが、編み笠に似ているという説や、雨が多いので「笠を持って入る」ところからという説もある。花の百名山という名の通り、多くの花が見られる。7月に咲く花は、ウツボグサ・ヤナギラン・シモツケ・クガイソウ・ヤマホタルブクロ・ハクサンフウロなど。